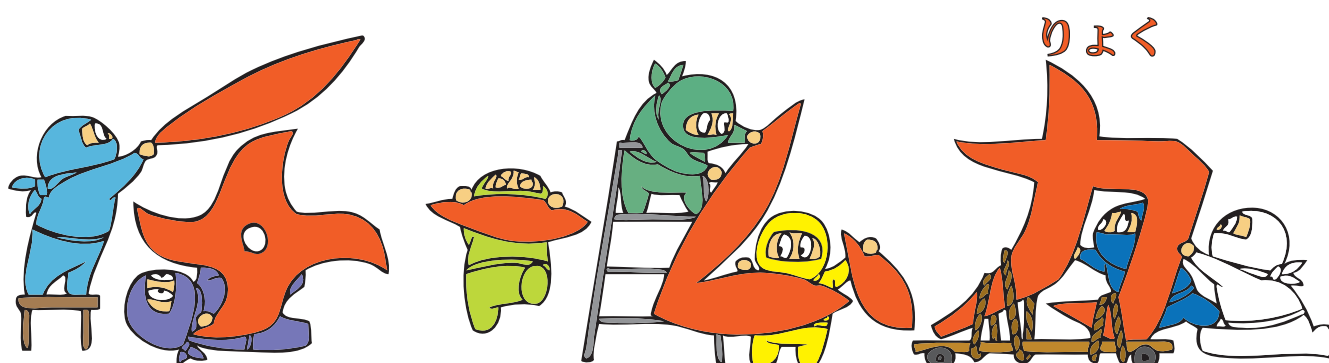




第34回 全日本教育工学研究協議会全国大会



～ 寄らば文殊の知恵、みんなでコラボしよう～

大会キーワード：新学習指導要領 情報教育 ICT活用

新しい学習指導要領が発表され、2009年度から移行措置期間となります。この中には、「情報」という言葉が小学校で24個、中学校で48個も盛り込まれています。

これは、将来、子どもたちが変化の激しい社会の中で、「生きる力」を身につけるために情報を有効に活用することが大切であることの現れであると我々は解釈しております。本大会の授業発表や研究発表を通じて、情報教育について全国の仲間と議論したいと考えています。

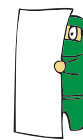
また、ICT活用が、子どもたちを中心にすえた「わかって楽しい授業づくり」とどのように結びついていくのかについても情報を交換し、学び合う場としたいと思います。

さらに、これからの教育工学の方向性についても議論し、その成果を三重から全国に発信いたします。

2008年11月21日(金) ▶ 11月22日(土)



<http://www.mie-ict.com/>





11月21日(金) 会場: プラザ洞津 13:45~14:30 (第1日目の午後)

演題

学習指導要領の改訂と 学校の役割



■講師
磯田文雄

文部科学省
研究振興局
局長



11月21日(金) 会場: プラザ洞津 14:40~16:00 (第1日目の午後)

新学習指導要領を 授業でどう具現化するか

改訂された学習指導要領の内容をふまえ、学校に求められる変化、どのような準備を進めるべきかなどを、教育学の視点から登壇者の方々が討論を行います。



■コーディネーター
赤堀侃司

東京工業大学教授



永野和男

聖心女子大学教授



原 克彦

目白大学教授



豊田充崇

和歌山大学准教授



11月21日(金) 会場: プラザ洞津 16:10~17:00 (第1日目の午後)

鼎談

教育現場へのエール

教育学の発展に長きにわたり尽力された方をお願いしました。教育学がこれまでに積み上げてきた英知や教育界に果たしてきた役割を確認するとともに、今後の方向性について語っていただきます。



■コーディネーター
山西潤一

JAET 会長
富山大学理事・副学長



清水康敬

メディア教育開発
センター理事長



大久保 昇

JAET 副会長
(株)内田洋行
取締役専務執行役員



水越敏行

大阪大学名誉教授
関西大学特別顧問



11月22日(土) 会場: 三重県総合文化センター 14:15~15:40 (第2日目の午後)

わかって楽しい授業づくりをめざして

授業づくりに定評のある先生方を登壇者に迎え、それぞれの授業のこつを披露していただきます。三重大会で明らかになったことをまとめます。



■コーディネーター
堀田龍也

メディア教育開発
センター准教授



佐藤正寿

岩手県軽米町立
笹渡小学校
教頭



皆川 寛

宮城県登米市立
北方小学校
教諭



森 喜世子

三重県松阪市立
殿町中学校
教諭



上谷典秀

三重県名張市立
梅が丘小学校
教諭



11月21日(金)

会場：各学校

	学校名	時間	学年・教科	単元および概要	授業者	
A	三重大学教育学部附属 小学校 http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/sho/ <JR・近鉄津駅から 1.3Km>	話題の共有化や思考の視覚化をすすめる授業のあり方				西井 奨
		受付 9:00- 9:25 授業 9:35-10:20	2年・国語 生活	<合科学習> かんさつ名人をめざして 「かめのひみつ大発見」		
☞津市観音寺町359 TEL059-227-1295						
B	津市立高茶屋小学校 http://www.res-edu.ed.jp/takatyaya/ <JR高茶屋駅から0.6Km>	わかる喜び、確かな学び				
		受付 9:00- 9:25 授業 9:35-11:25	4年・算数	わり算の筆算を考えよう	奥田恭嗣	
			6年・社会	条約改正と中国・ロシアとの戦い	駒田裕明	
☞津市高茶屋3-1-1 TEL059-234-2615						
C	三重大学教育学部附属 中学校 http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/chu/ <JR・近鉄津駅から 1.3Km>	つながりあう力が伸びる「学び」の授業				
		受付 9:25- 9:45	1年・国語	ユニバーサルな心をめざして《2》	楠堂晶久	
		授業《1》 9:55-10:45	3年・数学	三平方の定理《1》	伊藤徹哉	
		授業《2》 10:55-11:45	1年・社会	地形図の見方《1》	楠井佳典	
			1年・家庭	4種類の基礎縫い《2》	田中智子	
☞津市観音寺町471 TEL059-226-5281						

■バスの運行■ (時刻は大会 web ページでご確認ください)

<ルート T>

津駅発
高茶屋小着

高茶屋小発
プラザ洞津着

<ルート F>

総合文化センター発
附属小・中学校着

附属小・中学校発
総合文化センター着

<ルート P1>

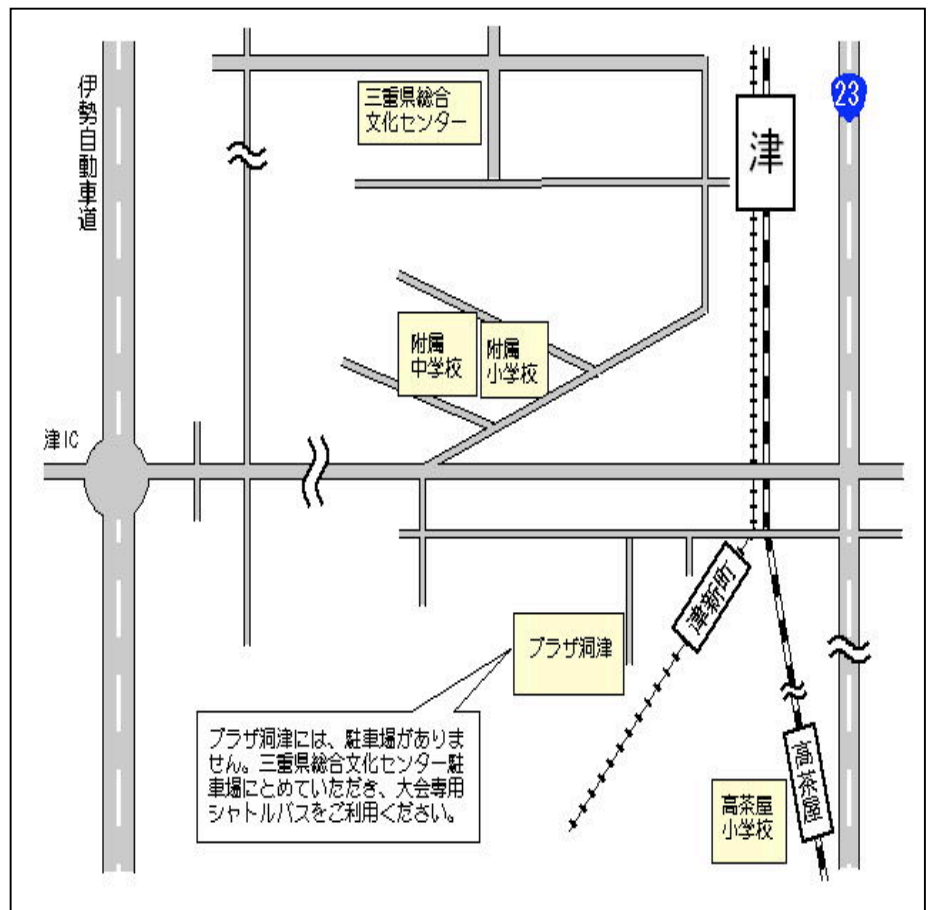
総合文化センター発
プラザ洞津着

プラザ洞津発
津駅着
総合文化センター着

<ルート P2>

プラザ洞津発
津駅着
総合文化センター着

【津市内の地図】



	学校名	時間	学年・教科	授業者			
㊦	亀山市立亀山西小学校 http://www.kameyama-mie.jp/~nisi/ <JR 亀山駅から 0.9Km>	つながり合って輝いて！ ～多文化共生をめざした教育活動を通して～					
		受付 9:10- 9:40 授業 9:40-10:25 バスの出発 10:50	1年・算数	かたちあそび	南部 美帆		
			4年・国語	読んでみよう書いてみよう ～ローマ字～	増地はるみ		
			6年・理科	自然とともに生きる	田中 俊二 川口 恭子		
			6年・学級活動	メールって便利だね、でもマナーも大切	橋爪 慶介		
☎ 亀山市本丸町 5 8 5 TEL 0 5 9 5 - 8 2 - 0 1 3 9							
㊧	亀山市立中部中学校 http://www.kameyama-mie.jp/~chubu/ <JR 亀山駅から 5.1Km>	一人ひとりが大切にされ、互いに高まり合おうとする集団の育成					
		受付 10:20-10:50 授業 10:50-11:40 バスの出発 12:10	2年・理科	電気の正体	花岡 繁治		
			1年・技術	技術とものづくり	駒田 豊		
			3年・数学	相似条件と証明	三谷 武治		
☎ 亀山市田村町 7 5 TEL 0 5 9 5 - 8 2 - 2 1 0 1							
㊨	三重県立亀山高等学校 http://www.mie-c.ed.jp/hkamey/ <JR 亀山駅から 1.4Km>	専門性を生かし地域活性化に寄与できる問題解決能力と創造力を備えた人材の育成 ～システムメディア科・情報のスペシャリストをめざして～					
		受付 8:20-10:40 授業《1》 8:55- 9:45 授業《2》 9:55-10:45 授業《3》 10:55-11:45 バスの出発 12:00	3年選択	課題研究(Linux)《1》《2》	渡邊 浩司		
			1年6組	情報と表現(ワード・パワーポイント)《2》	北出 覚士 奥出 正教		
			2年選択	ネットワークシステム《3》	北出 覚士		
			2年選択	アルゴリズム《3》	紀平 佳克		
			2年選択	コンピューターデザイン(フォトショップ)《3》	高橋美知代 坂本 祥子		
			1年1組	情報A(表計算)《1》	和田 佳子		
			1年2組	情報A(表計算)《3》	和田 佳子		
			1年2組	課題研究(3DCAD)《3》	紀平 佳克		
			3年選択	課題研究(Web ページデザイン)《1》《2》	高橋美知代		
			3年選択	課題研究(LEGOマインドストーム)《1》《2》	古儀 豊		
			☎ 亀山市本町 1 - 1 0 - 1 TEL 0 5 9 5 - 8 3 - 4 5 6 0				

■バスの運行■

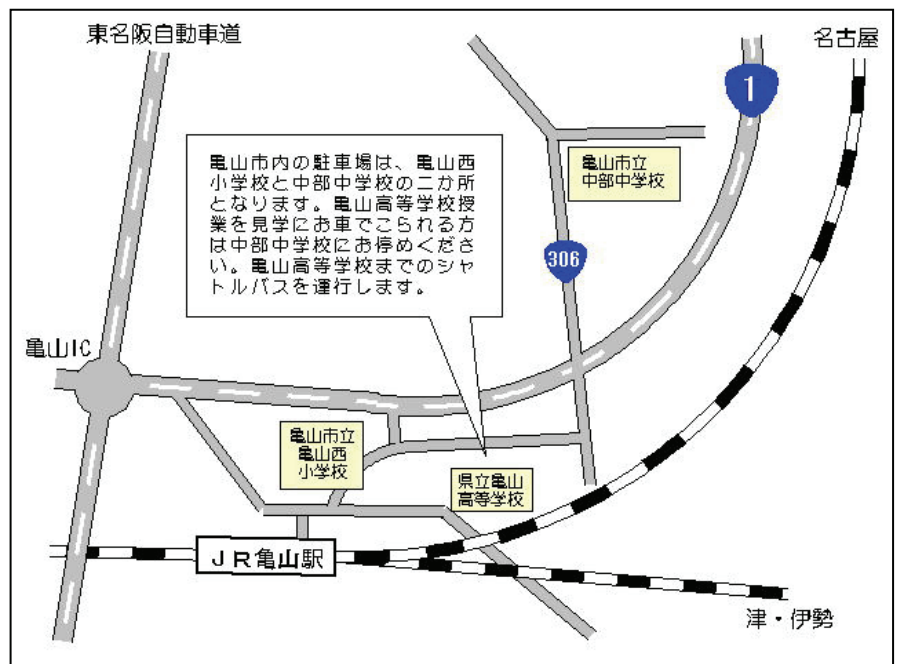
【ルート A】

亀山駅発	9:10
亀山西小学校着	9:20
亀山高等学校着	9:30
亀山高等学校発	10:40
亀山西小学校発	10:50
プラザ洞津着	11:40

【ルート B】

亀山駅発	10:15
中部中学校発	10:30
亀山高等学校着	10:40
亀山高等学校発	12:00
中部中学校発	12:10
プラザ洞津着	13:00

【亀山市内の地図】





11月22日(土)

会場：三重県総合文化センター

9:30～13:55(第2日目の午後)

研究発表

【分科会1】高めよう、授業研究法		会場：三重県文化会館2F 大会議室		
A-01	児童の創作活動を支援するデジタル作品交流システムの開発	9:30～9:45	西村 和貴	津市立栗真小学校
A-02	表現する力を育成することに視点を置いた授業の創造・実践 ～Squeak(スクイーク)活用授業を通して～	9:50～10:05	荻田 弘樹	四日市市立八郷西小学校
A-03	新教育課程で求められるデジタル教科書の機能	10:10～10:25	原 久太郎	(株)イーテキスト研究所
A-04	児童自らが取り組む情報発信とそのフィードバック	10:30～10:45	伊藤 俊行	旭市立豊畑小学校
A-05	情報社会で生きる「7つの能力」の研究	10:50～11:05	竹内 一裕	深川市立一巳小学校
A-06	ICTを活用したわかる授業の設計と実践～目標の構造化による授業設計を通じた若手教員の授業力の向上～	11:10～11:25	細見 隆昭	丹波市立西小学校
A-07	電磁気現象のモデル化と可視化に基づく学習効果を期待したデジタルコンテンツの制作と授業の提案	11:30～11:45	林 壮一	立教新座中学校・高等学校
A-08	高等学校「総合的な学習の時間」における協調自律学習 ～チーム学習による授業デザインと実践～	13:00～13:15	齊尾 恭子	大阪国際大和田中・高等学校
A-09	学習指導要領改訂に対応した簡易型NC教材の開発	13:20～13:35	渥美 勇輝	鈴鹿市立鈴峰中学校
A-10	中学校でのロボット製作学習におけるJr.特許実践の評価	13:40～13:55	吉岡 利浩	津市立豊里中学校
【分科会2】高めよう、授業研究法		会場：三重県文化会館2F 中会議室		
B-01	思考を深める授業づくり ～4年生理科の電気のはたきにおけるルーブリックの活用～	9:30～9:45	江口 慎一	相模原市立相模台小学校
B-02	系統的な作文指導のための相互評価ツールの開発 ～ルーブリックの共有化を基盤として～	9:50～10:05	三宅貴久子	岡山市立津島小学校
B-03	全国学力調査問題から創る思考力を伸ばす数学科の授業	10:10～10:25	武田 裕二	熊本市立日吉中学校
B-04	思考を深める授業づくり ～5年生社会科の産業学習におけるルーブリックの活用～	10:30～10:45	石井 芳生	東みよし町立加茂小学校
B-05	授業に生きる自己評価活動の日常化 ～ルーブリックの導入と定着に向けての方策について～	10:50～11:05	深井 美和	富山市立中央小学校
B-06	学習内容の補完深まりに関する理科ねっとわーくの有用性の研究	11:10～11:25	小林 祐紀	金沢市立小坂小学校
B-07	表現を共有し互いに学び合える場の学習効果	11:30～11:45	坂本 真司	和歌山市立四箇郷小学校
B-08	実感を伴った理解をめざす理科授業の実践と評価～理科ねっとわーくを用いた授業によるデジタル教材の有用性についての検証～	13:00～13:15	岩崎 京子	七尾市立徳田小学校
B-09	伝える活動を重視した社会科教育におけるタブレットPCの活用	13:20～13:35	岡本 友尊	和歌山市立雑賀小学校
B-10	デジタルノートがグループ学習に与える効果の分析	13:40～13:55	本岡 朋	和歌山市立有功東小学校
【分科会3】高めよう、授業研究法		会場：三重県文化会館2F 小会議室		
C-01	「書くこと」の阻害要因に着目した授業デザインの構築と試行 ～中学校国語俳句の授業を通して～	9:30～9:45	南 和美	鳴門教育大学大学院
C-02	自己評価レベルを可視化し意識させることの有効性	9:50～10:05	寺澤 孝文	岡山大学
C-03	算数科授業における指導の効率化に関するICT活用の効果	10:10～10:25	渡邊 光浩	三股町立勝岡小学校
C-04	テレビ会議システムを使って海外と交流しよう	10:30～10:45	小田 和史	旭市立矢指小学校
C-05	高校普通教科「情報」における応用ソフトウェア操作指導有無による大学「情報リテラシ」学習の達成度調べ	10:50～11:05	山岸 正明	セコム山陰(株)
C-06	ぐんぐんのびる個別ドリルシステムの開発	11:10～11:25	米田 浩	尼崎市立教育総合センター
C-07	ぐんぐんのびる個別ドリルシステムの活用	11:30～11:45	大濱 洋治	尼崎市立教育総合センター
C-08	小学校国語科における「学習用語マップ」を活用した授業実践	13:00～13:15	穴澤真由子	鈴鹿市立教育研究所
C-09	評価用ツールとしての iPod touch の効果的活用方法の検討	13:20～13:35	孕石 敏貴	日進市立梨の木小学校
C-10	平面図形から3次元形状を脳内表象するために必要な認知処理能力の評価	13:40～13:55	柏原 考爾	名古屋工業大学
【分科会4】こんな研修で教師が変わった！		会場：生涯学習センター4F 大研修室1		
D-01	教員のICT活用指導力向上のための研修カリキュラムの開発(3)	9:30～9:45	伊藤 剛和	奈良教育大学
D-02	教員のICT活用指導力向上のための研修の開発	9:50～10:05	宮原 克彦	日本教育工学振興会
D-03	短期集中型情報化促進プログラムの開発と実践	10:10～10:25	平松 茂	岡山市立藤田中学校
D-04	eラーニングの教員研修への活用に向けた提供システムの研究	10:30～10:45	長塚 正義	神奈川県立総合教育センター
D-05	授業中にICTを活用して指導する能力を高めるためのICT活用校内研修パッケージの開発	10:50～11:05	片山 淳一	岡山県総合教育センター
D-06	eラーニングを活用したICT活用指導力育成のための教員研修	11:10～11:25	吉村 和郎	日本教育工学振興会
D-07	学級経営力量向上のための校内研修ワークショップの試行～小学校現職教員の実践から抽出されるコンピテンシーに着目して～	11:30～11:45	伊達智登世	鳴門教育大学大学院

【分科会5】ICTでいきいき学校経営		会場：生涯学習センター4F 大研修室2		
E-01	教育用コンピュータ等に関するアンケート調査結果	9:30～9:45	小林 賢二	日本教育工学振興会
E-02	教育用PCを有効活用するPCグリッドシステム及びそのビジネスモデル	9:50～10:05	増田 迪博	日本教育工学振興会
こんな研修で教師が変わった！				
E-03	授業力を高め、学ぶ力を育て、教育を進化させる管理職の役割	10:10～10:25	遠藤 康俊	九十九里教育工学研究会
E-04	教師に必要なICT活用スキル研修プランの開発	10:30～10:45	中川 斉史	三好教育ネットワークセンター
E-05	タブレットPCの導入と活用を促進する和歌山市の取り組み	10:50～11:05	角田 佳隆	和歌山市立教育研究所
E-06	教員のICTスキル向上に関するeラーニング研修の実践と評価	11:10～11:25	山本 朋弘	熊本県立教育センター
E-07	教員研修のPDCAサイクルモデルの研究開発	11:30～11:45	森田 和夫	日本教育工学振興会
E-08	教員のICT活用指導力を向上させるための校内研修プログラムの活動及び構成に関する検討	13:00～13:15	皆川 寛	登米市立北方小学校
E-09	ID理論を取り入れて授業設計力を高める教員研修	13:20～13:35	岡部 昌樹	金沢星稜大学
【分科会6】こうやればいいんだ！情報モラル教育！		会場：生涯学習センター4F 中研修室		
F-01	学校が組織的に対応するためのフローチャート式ネットトラブル対応マニュアルの開発	9:30～9:45	長谷川元洋	金城学院大学
F-02	ケータイ・パソコン 生徒と保護者の意識差	9:50～10:05	岩森 正治	度会町立度会中学校
F-03	保護者を対象とした情報モラル教育の実践と評価	10:10～10:25	溝口 博史	人吉市立中原小学校
F-04	情報モラル指導ポータルサイトの構築	10:30～10:45	高橋 直久	日本教育工学振興会
F-05	情報モラル教育の取り組み	10:50～11:05	宮城 涉	沖縄市立沖縄東中学校
F-06	すべての教師が取り組む情報モラル教育	11:10～11:25	尾崎 廉	札幌市立平岡中学校
F-07	光と影を併せ持ったケータイ向け情報モラル教材の制作	11:30～11:45	石原 一彦	岐阜聖徳学園大学教育学部
F-08	新学習指導要領にFitする 情報モラル教育 ー『事例で学ぶ Net モラル』を使った実践を通してー	13:00～13:15	上野 真	大分市立滝尾小学校
F-09	情報モラル指導の課題と授業支援教材	13:20～13:35	上原 永護	洪川市立小野上小学校
F-10	4コマ画像付き掲示型と体験型の情報モラル教材セットの開発による情報モラル教育の推進	13:40～13:55	新谷 洋介	北海道高等聾学校
【分科会7】ICTで校務の効率化！		会場：生涯学習センター2F 小研修室		
G-01	1人1台のPC環境におけるICT活用の効果と課題	9:30～9:45	岡田 隆嗣	神戸学院大学附属高等学校
G-02	漢字の習得における移動型情報携帯端末 iPod の可能性 ー小学校4年生漢字教材の開発	9:50～10:05	江口 千穂	玉川大学教職大学院
G-03	個人所有PCをより安全・有効に活用する取り組み	10:10～10:25	谷本 康	亀山市立亀山西小学校
こうやればいいんだ！情報モラル教育！				
G-04	子どものインターネット・ケータイ使用に関する悩みと指導方法について	10:30～10:45	梶本 佳照	三木市立教育センター
G-05	道徳の時間における情報モラル指導の具体的展開と評価	10:50～11:05	高尾 隆宏	天草市立亀場小学校
G-06	児童の実態に応じた情報モラル指導のあり方(1) メディア活用実態調査からの考察	11:10～11:25	島田 佳幸	尼崎市立成文小学校
G-07	児童の実態に応じた情報モラル指導のあり方(2) 授業実践と学校内外への推進	11:30～11:45	児玉 美鈴	尼崎市立成文小学校
G-08	情報教育の一環としての知的財産学習の提案	13:00～13:15	世良 清	三重県立四日市商業高等学校
G-09	情報モラルを含むメディア・リテラシー学習の実践と考察 ーWeblogを利用した保護者参加型の取組を通してー	13:20～13:35	大山 努	上越教育大学院学校教育研究科
G-10	確かなコミュニケーション能力を育むための情報モラル教育の在り方	13:40～13:55	坂本白百合	つくば市立荊崎第一小学校
【分科会8】わかって楽しい授業づくり		会場：男女共同参画センター2F セミナー室A		
H-01	普通教室のICT環境における日英比較からの日本型モデルの検討	9:30～9:45	野中 陽一	横浜国立大学
H-02	教科書準拠の提示用デジタルコンテンツの開発	9:50～10:05	高橋 純	富山大学
H-03	赤外線ワイヤレスシステムを用いた教室での 拡声に関する研究	10:10～10:25	一色 秀之	和歌山大学教育学部附属中学校
H-04	算数・理科のグラフ作成に関する学習活動例を活かした授業実践と評価	10:30～10:45	松山 明道	人吉市立中原小学校
H-05	学校放送番組「見える歴史」を活用するためのワークシートの設計	10:50～11:05	菅原 弘一	仙台市教育委員会
H-06	社会科と総合的な学習の時間におけるICT活用の実践 ーつるまきの歴史をさがそうー	11:10～11:25	坂中 正人	旭市立鶴巻小学校
H-07	体験活動と番組視聴を交互に取り入れた学習の効果の測定	11:30～11:45	笹原 克彦	富山市立山室中部小学校
H-08	メディアが伝える情報の分析活動を取り入れた消費者教育の授業実践	13:00～13:15	高橋 伸明	岡山県総合教育センター
H-09	所沢市オリジナル教材「英語学びノート」の紹介と課題	13:20～13:35	保崎 則雄	早稲田大学

【分科会 9】わかって楽しい授業づくり		会場：男女共同参画センター3F セミナー室C		
I-01	中学校技術科における構造設計学習を支援するシミュレーション教材の提案	9:30～9:45	中西 康雅	三重大学教育学部
I-02	ソフトウェアによるリコーダー演奏練習の支援	9:50～10:05	手塚 正道	宇都宮市立瑞穂野南小学校
I-03	著作物を尊重する態度の育成を目指した指導用教材の開発	10:10～10:25	尾崎 文雄	津山市立弥生小学校
I-04	コンピュータの楽しさを深めるプログラミング学習 ー教育用プログラミング言語「ドリトル」を使った実践ー	10:30～10:45	井戸坂幸男	松阪市立飯南中学校
I-05	算数指導におけるプロジェクト活用の現状と理想の教室環境に関する調査	10:50～11:05	石塚 文晴	静岡大学
I-06	小学校体育科におけるデジタルポートフォリオを活用した授業実践	11:10～11:25	山下 晴久	岡山大学教育学部附属小学校
I-07	Web2.0 的ツールを活用した授業実践の試み ー小学校社会科における学級内授業での Wiki の活用ー	11:30～11:45	水ノ江 健	取手市立白山小学校
I-08	教科での情報活用を活かした総合的な学習の時間の授業実践と評価	13:00～13:15	横山 誠二	熊本県錦町立一武小学校
I-09	小学校授業での児童による「デジタルペン」の利用と学習履歴作り	13:20～13:35	河村 広之	三重大学大学院
【分科会 10】特別支援教育に活かす ICT		会場：生涯学習センター2F 視聴覚室		
J-01	ICT を活用した情報モラルの実践	9:30～9:45	木村 正秀	北海道南幌養護学校
わかって楽しい授業づくり				
J-02	伝えることを重視した理科の観察学習に関する考察 ー「観察する」ことから「伝え合う」までの一連の学習における ICT 活用の実践と評価ー	9:50～10:05	成瀬 雅海	和歌山市立有功東小学校
J-03	タブレット PC を使った授業に対する意識調査	10:10～10:25	松居 和子	海陽学園
J-04	国語科におけるメディア表現学習プロセスの検証	10:30～10:45	前田 康裕	熊本市立飽田東小学校
J-05	国際交流学習における授業設計と評価	10:50～11:05	清水 和久	石川県教育センター
J-06	子どもたちによるデジタルカメラの活用	11:10～11:25	藤原 昭二	大紀町立錦小学校
J-07	小学校におけるキャリア教育学習活動の開発	11:30～11:45	高橋 恵	東金市立錦嶺小学校
J-08	「PISA 型学力」につながる読解力育成を目指した実践	13:00～13:15	美若 利充	岡山県津山市立北小学校
J-09	プロジェクトや電子情報ボードをもっと生かす「デジタルクロッキー」	13:20～13:35	木村 裕文	ラティオインターナショナル
【分科会 11】わかって楽しい授業づくり		会場：男女共同参画センター1F 多目的ホール		
K-01	社会科で進める、資料活用から情報活用へ	9:30～9:45	木村 正徳	和気町立佐伯小学校
K-02	電子黒板活用モデルと実践事例	9:50～10:05	永田 智子	兵庫教育大学
K-03	デジタルコンテンツとアナログコンテンツのいいところどり授業	10:10～10:25	小掠 春行	多気郡明和町立明和中学校
K-04	解ける楽しみが理解につながる演習支援システム	10:30～10:45	田畑 忍	皇學館大学
K-05	国語科における思考力育成をめざしたシンキング・ツールの活用事例研究	10:50～11:05	笹尾 真剛	京都大学高等教育研究開発推進センター
K-06	自己評価カードの導入による、児童の授業参加度の変容	11:10～11:25	明石 学	早稲田大学
K-07	協同物語制作を通じた異文化理解・自文化理解	11:30～11:45	岸 磨貴子	関西大学大学院
ポスター発表 (11:10-12:30)		会場：三重県文化会館1F レセプションルーム		
P-01	国際教育推進プランの取組		米野 浩之	津市教育委員会
P-02	ICT を使用したこどものための国際交流活動		花田 武和	NPO 法人パンゲア
P-03	知的障がいや併せもつ肢体不自由児のためのワンスイッチ教材の開発		早津 幸恵	三重県立北勢きらら学園
P-04	はじめの一歩“やってみよう、スクイーク実践！”		荻田 美幸	津市立千里ヶ丘小学校
P-05	読書をテーマとしたデジタルストーリーテリングの学習効果		鏡 愛	三重大学大学院
P-06	児童用 Web 情報発信支援システムの活用とその評価		小山 史己	津市立西が丘小学校
P-07	学習成果物の共有と交流による児童の気づきを重視した授業実践		福島 耕平	鈴鹿市立国府小学校
P-08	高等学校家庭科「意見交流学習」における「ありがとうカード」と「アドバイスカード」の内容分析		赤塚 美鈴	三重大学大学院・三重県立津高等学校
P-09	GRAPES による数学教材を Moodle 上で相互利用する構成主義的学習方法の探求		田中 賢治	三重県立伊勢工業高等学校
P-10	アンプラグドコンピュータサイエンス		井戸坂幸男	松阪市立飯南中学校
P-11	学習者参加型授業を促進する教員研修・養成カリキュラムの開発		白井 靖敏	名古屋女子大学
P-12	学習者参加型授業を促進する教員養成カリキュラムの開発		鷲尾 敦	高田短期大学
P-13	プログラミング演習のための初心者向け支援システム		伊富 昌幸	三重大学
P-14	デジタルシステム設計演習のための教育用 FPGA ボードシミュレータ		坂田 晴美	三重大学
P-15	ソフトウェア設計演習のためのコーディング支援ツール		米田 裕香	三重大学
P-16	映像 e ラーニングのための遺伝的アルゴリズムを用いた部分板書画像の自動結合方法		長縄 侑樹	三重大学
P-17	e ラーニングのための筆記者の書き癖を考慮した文字認識		服部 正寛	三重大学
P-18	授業データベース作成のための黒板に書かれた手書き文字列画像からの行切り出し		平林 邦章	三重大学

大会日程

11月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
21日 (金) 会場 プラザ洞津 (津市)	公開授業 (津市・亀山市) 各校により時程が異なります			受付		開 特 別 講 演	シンポジウムⅠ 14:40-16:00 プラザ洞津	シンポジウムⅡ 16:10-17:00 プラザ洞津	懇親会 18:00-20:00 プラザ洞津			
					教材・教員展示会 プラザ洞津・孔雀の間							
22日 (土) 会場 三重県総合文化 センター(津市)	受付	研究発表(分科会①) 9:30-11:55 センター内の11会場		理 事 会	研究発表 (分科会②) 13:00-13:55 センター内の10会場	シンポジウムⅢ 14:15-15:40 多目的ホール	閉 会 行 事					
			ポスター発表 レセプションルーム 11:10-12:30		教材・教員展示会 センター内の生活工房・ロビー							



※1日目と2日目で、会場が異なります。お間違えのないよう、ご注意ください。
 ※公開授業を開催する各学校から、午後の会場である「プラザ洞津」まで、無料バスを運行させます。どうぞ、ご利用下さい。
 詳しくは、大会 web ページをご覧ください。
 ※プラザ洞津の最寄り駅は、津新町駅(近鉄)です。津駅で、近鉄の急行または普通電車にお乗り換えください。

◆三重大会 受付場所◆

(1) 各公開授業校

各学校では、授業の指導案などを配布します。授業参観のみの仮受付を設けます。
 午後以降の全体会など参加申込は、(2)の会場受付にて行いますので、プラザ洞津へお越し下さい。

<11月21日>
(2) プラザ洞津

1階の入り口付近に受付を設けます。配付資料などは、ここで受け取り下さい。
 当日申込の方は、ここで参加費をお支払い下さい。

<11月22日>
(3) 三重県総合文化センター

センター奥に位置する「男女参画共同センター(フレンテみえ)」入り口に受付を設けます。
 当日申込の方は、ここで参加費をお支払い下さい。

主催

日本教育工学協会 (JAET)

主管

全日本教育工学研究協議会三重大会実行委員会

共催

(社)日本教育工学振興会、(財)コンピュータ教育開発センター、三重大学教育学部附属教育実践総合センター、学習支援研究会、三重県中学校国語教育研究会、三重県高等学校情報教育研究会

後援

文部科学省、総務省、(財)学習ソフトウェア情報研究センター、全国教育研究所連盟、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高

等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、日本私立小学校連合会、三重県、津市、亀山市、三重県教育委員会、津市教育委員会、亀山市教育委員会、桑名市教育委員会、いなべ市教育委員会、四日市市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、松阪市教育委員会、伊勢市教育委員会、鳥羽市教育委員会、志摩市教育委員会、伊賀市教育委員会、名張市教育委員会、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会、木曾岬町教育委員会、東員町教育委員会、菟野町教育委員会、朝日町教育委員会、川越町教育委員会、明和町教育委員会、多気町教育委員会、大台町教育委員会、玉城町教育委員会、大紀町教育委員会、南伊勢町教育委員会、度会町教育委員会、紀北町教育委員会、御浜町教育委員会、紀宝町教育委員会

参加費

一般：3,000円 学生：2,000円
 (※所属校の学生証をご提示下さい)
 (※社会人学生・院生は、一般扱いです)

研究論文集CD

2,000円
 (※大会参加と同時申込は1,000円です)

懇親会費

5,000円

お問い合わせ先

大会全般について E-mail mie2008@mie-ict.com
 // TEL 070-6652-6995 (中村)
 企業展示について TEL 070-5577-6500 (谷本)
 共催等について TEL 070-5444-8869 (岩森)
 三重大会実行委員会 事務局
 住所：〒519-2911 三重県度会郡大紀町錦 426-1
 度会郡大紀町立錦小学校内
 F A X : 0598 (73) 3479 (錦小学校)

<http://www.mie-ict.com/>